

## APP が保護価値の高い森林に関する新たな方針を発表

ジャカルタ——アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ(APP)は、事業活動をさらに進化させるために、保護価値の高い森林に関する新たな方針を発表しました。この中には、インドネシアで自社グループが所有するパルプ材コンセッション内での自然林伐採を直ちに中止することが含まれています。

APP は過去 10 年の間に、インドネシアの貴重な天然資源、保護価値の高い地域、生物多様性などの重要な側面を守るために、多岐にわたる持続可能性戦略を立案し、実行してきました。

今回 APP は、国際的に認知された「保護価値の高い森林 (High Conservation Value Forests、以下 HCVF)」の基準を採用することを発表します。当グループではこれを、持続的可能性戦略の「自然な流れでの次への進化」と呼んでいます。

この HCVF 方針は、以下のように速やかに実行されます。

### 1. インドネシアで APP が所有する森林コンセッションに関して

- a. 2012 年 6 月 1 日から、APP は HCVF 評価が行われている期間中、自然林の伐採を停止します。
- b. HCV Resource Network の最善慣行に従って HCVF 評価を実施するために、我々は信頼の高い専門家チームを起用しました。
- c. 我々は、HCVF 評価の結果に基づき、特定されたすべての保護価値の高い地域を保護します。

### 2. インドネシアにおける APP の独立系パルプ材供給会社に関して

- a. 当社の HCVF に対する確固たるコミットメントがなされたことを考慮し、独立系供給会社が 2014 年 12 月 31 日までに、我々の HCVF 評価に対する要求に応じることを期待します。
- b. APP は国際的な NGO パートナーと共に、独立系供給会社に対し、HCVF 評価を採用するように協働して行きます。
- c. HCVF 評価が実施されない場合、我々は供給契約を再検討します。

APP の持続可能性・ステークホルダー担当役員のアイダ・グリーンベリーは次のように述べています。「環境と社会面で最高の基準と健全性を持つ製品を顧客に提供することを保証し、また、国際社会に対し共有のビジョンを示すことを確約するため、この画期的なプログラムを直ちに実行いたします。私たちは NGO との対話の中で提起された重要な問題に対して考慮しています。APP の方針の目的は、サプライチェーンから HCVF を排除することです」

APPの将来の拡張問題について、グリーンベリーは「企業として、我々は常に機会を求めて市場評価を行っています。しかし、今回の自然林保護方針はすべての現行及び将来の拡張計画に適用されます」と述べました。

シナルマス・フォレストリーのCEO ロビン・マイロアは次のように述べました。「今回の方針を我々の事業に組み込むことについて確信を持っていますが、これを成功させるには、多くのステークホルダーの関与も必要であると認識してとしています。HCVF原則による管理は、当社の所有するコンセッションの領域を超えて適用される手順であり、地域社会の構成員、政府、市民社会、そしてパルプ生産に携わるすべての人々により受け入れられ、理解されなければなりません」

#### APPのステークホルダーは、この発表を歓迎しています：

インドネシア林業省の森林・自然保護担当長官であるダロリ氏は次のように述べています。「インドネシア政府は、自然林保護を国家方針の重要な要素として位置付けています。この方針を達成するためには、民間企業も法律が規定した以上の行動を主導的に取る必要があります。インドネシア政府は本日の発表を支持すると共に、他の企業もAPPの例にならってくれることを願っています」

国連グローバル・コンパクト・ネットワークのインドネシア支部代表理事のY.W. Junardy氏は次のように述べています。「我々は森林保護を打ち出したAPPの戦略的ステップを歓迎します。国連グローバル・コンパクト活動に積極的な企業として、今回のステップは、特に環境面における国連グローバル・コンパクトの原則を実行しようとするAPPの誓約と努力を実証するものです」

APPは、本日発表した誓約の進捗状況を、定期的なレポートとしてホームページ([www.asiapulppaper.com](http://www.asiapulppaper.com))で紹介していきます。

#### 【APPインドネシアについて】

インドネシアに本社を置くAPPインドネシアは、アジア最大級の総合製紙メーカーで、世界120ヶ国を超える国々で製品を販売しています。インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトゥナなど、インドネシアにある複数の工場生産されている紙製品の総合ブランドでもあります。APPの生産設備の大部分はLEIとPEFCによる加工・流通過程認証を取得しています。

APPは、ギアム・シアク・ケテル・ブキット・バツにある17万8,000ヘクタールの生物圏保護区、10万6,000ヘクタールのセネピストラ保護区など、多くの大規模な環境保全取り組みを支援しています。この両保護区はスマトラ島リアウ州に位置しています。APPによる野生生物保全取り組みには、他にもカリマンタンでのクタイ・オランウータン・プログラムや、ウジュン・クロン国立公園でのジャワサイの保護への支援などがあります。

詳細についてはこちらをご参照ください：[www.asiapulppaper.com](http://www.asiapulppaper.com)

#### 【APP中国について】

APP中国は、1994年10月にシンガポールで設立された世界有数の紙パルプ企業の一つで、アジアの主要な総合製紙会社として位置付けられています。1990年代初めに中国への投資を開始

して以来、APP は子会社やジョイント・ベンチャーを含む 20 以上の紙パルプ工場を所有し、計 300,000 ヘクタールに及ぶ森林植林地帯を保有しています。APP 中国の従業員は 38,900 名を超え、2010 年における年間生産能力は合計 800 万トンでした。APP 中国は 2010 年末までに環境保護設備に 55 億人民元（8 億 6,900 万米ドル）を投じ、6 億人民元（9,230 万米ドル）を全国の様々な地域開発プロジェクトや慈善活動などに投じています。詳細についてはこちらをご参照ください：[www.app.com.cn](http://www.app.com.cn)

**本件に関するお問い合わせ先：**

エイピーピー・ジャパン株式会社

環境・PL 対策ユニット

寺崎 孝穂

Tel: 03-5217-1256

APP 広報代理店

パーソン・マーステラ

田中 彩

Tel: 03-3264-6701

Fax: 03-3237-1244

Email: [aya.tanaka@bm.com](mailto:aya.tanaka@bm.com)

APP インドネシア

Redita Soumi

E: [redita\\_soumi@app.co.id](mailto:redita_soumi@app.co.id)